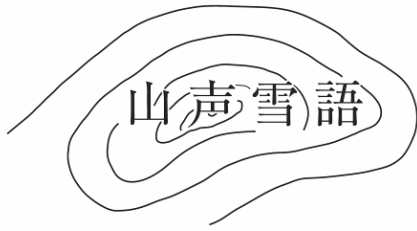


京交山岳部報

例会予告 (2019年12月～2020年1月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2817回 納山祭 近江 猪の背山 点名「富川」 (3等△553.2)	12月14日(土) 集合 竹田駅西口 AM8:00	吉田 武	竹田～宇治西 IC(京滋バイパス)南郷 IC～R422～大石富川(h-208)～登山口・猪の背山往復～南郷温泉「二葉」(入浴・食事)～帰路
備考 日帰り登山装備。交通費・入浴・食事の費用は山岳部が負担します。 南郷温泉「二葉」077-537-1255			
第2818回 初登山 釈迦谷山 点名「栗生」 (3等△230.1)	1月13日(月・祝) 集合 阪急長岡天神 駅西口改札 AM9:00	松田誠二 吉田 武	長岡天神駅・長岡天神参拝 ・河陽が丘2丁目・登山口 ・釈迦谷山往復・長岡天神 西口, 洋食屋「AKIRA」 (11:30), 昼食後解散
備考 日帰り登山装備。昼食費用は山岳部が負担します。 洋食屋「AKIRA」075-952-3885			
第2819回 栂池スキー	1月26日(日) ～28日(火) 集合 参加者で調整	吉田 武	26日 京都東 IC(名神・中央・ 長野)安曇野 IC～R147～栂池 27日 終日スキー 28日 帰路
備考 岡本氏の車でいきます。費用35,000円。 宿泊は白馬ベルクハウス (Tel0261832014)。			
12月の集会 日時 12月12日(木) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		1月の集会・新年会(雑報詳細) 日時 1月10日(金) 18:00～ 場所 四条烏丸下る「かごの屋」	



台風による浸水被害と地下鉄車両

松田 誠二

10月12日夜、伊豆半島に上陸した大型で非常に強い台風19号は、関東甲信越、東北地方に記録的な豪雨をもたらしました。これまで長野県においても、千曲川の各所で堤防越水による氾濫が発生し、長野市穂保地先では約70mにわたって堤防が決壊し、北陸新幹線「長野新幹線車両センター」は濁流にのみ込まれました。

水没したのは北陸新幹線の最新車両で、留置線に停車していた7編成と、検査線で点検中の3編成の合計10編成（120両）の全てが、車内の座席まで浸水する被害を受けました。

新幹線車両は走行などに必要な機器の多くを床下に電子機器を搭載しており、泥水につかった機器は全滅で再利用は不可能とのこと。浸水した座席をはじめとする車内設備も全て交換が必要になるなど、10編成は廃車になるだろうとのこと。1編成あたり30億円以上の新幹線車両が10編成も水没しました。事前に車両を避難させることはできなかったのでしょうか。

わが京都市交通局の地下鉄でも、同様な事態が考えられます。地下鉄烏丸線の留置場所である竹田車両基地は、鴨川の付近にあり、京都市のハザードマップによると、0.5m～3mの浸水が想定されています。竹田車両基地には、烏丸線の車両、全20編成の内、16編成（96両）が留置されています。1編成ずつ、地下の本線に移動させるには、最低でも約1時間30分はかかるといわれています。川が増水してからでは、とても間に合わないため、計画運休が実施されることが車両を退避させる必須条件となるでしょう。

しかし、そのためには、様々な課題があります。計画運休の基準の設定、運転士の手配、各駅に留置するための段取りなど、入念な検討を重ね、何度も訓練を実施しなければ、車両を短時間で退避させることはできないでしょう。また、車両基地には、車両だけでなく、地上設備の検査、修繕のための大型保守車両も留置しています。その車両の退避も必要です。

地下鉄の車両は6両編成で約10億円、16編成で約160億円の損失となります。また、製造に約3年はかかります。3年間の収入が見込めない中、現在約3800億円の借金を抱えており、その利子さえも払うこともできなくなり、地下鉄は、廃業の危機に追い込まれるでしょう。

台風や地震による自然災害に対応すべく、今後も検討を重ねていき、災害に強い地下鉄を守っていくため、今後がんばっていく所存です。

越前 部子山（2等△1464.3）

井戸 澄夫

9月23日（月・祝）、台風17号の影響が残っていたので、もう一つの目的地であった朝倉氏一乗谷城址に先にいくことにした。まず永平寺町で九頭竜川の子持ち鮎の塩焼きを昼食で食べた。天然のとれたての子持ち鮎で非常に美味であった。次に一乗谷に向かった。一乗谷は戦国大名で織田信長に滅ぼされた朝倉氏の本拠地であったが、廃墟となって400年以上田畑の下に埋もれていた。50年ほど前から発掘復元作業が始まり、領主、家臣、従者等の住居跡の遺構が発掘されており、町屋建物は一部復元され商業施設にもなっている。朝倉氏は戦国期の大名がそうであったように、都（京都）から逃れてきた公家衆を保護し、都の公家文化を吸収してきた。特に、池泉回遊式や枯山水の庭の石組みは立派なものであり、往時の栄華を偲ばせてくれる。この日は福井駅前のビジネスホテルに宿泊した。

9月24日（火）、台風は去ったが、その影響は残っており、雨だけは降らないでくれと祈りつつ出発した。部子山は以前から銀杏峯とともに春の山スキーで登りたかった山である。取立山や経ヶ岳に登ってから行こうと思っていたが、年齢による体力の衰えのため山スキーは無理となったので、車でほとんど登れる部子山にまず登っておくかと今回の計画を立てた。鯖江から池田町に入り水海の集落から部子山へ登る林道に入る。池田町は能楽の里といわれ、能を嗜む人が多く、能面美術館など作って町おこししている。その起源は、鎌倉時代に執権北条時頼が諸国行脚の折、雪で立ち往生し水海で越冬した際に、村人たちが「田楽」を舞って慰めたところ、時頼が返礼として「能舞」を教えたのが始まりとされる。「水海の田楽能舞」は毎年2月15日、村民達により古式に従って鶴甘神社に奉納される。部子山の山頂周辺は牧場として開発され、夏場に牛が放牧される。その名も「能楽の里牧場」である。林道は部子山道路と言い、幅も比較的広く舗装も良好である。標高差1000mくらいを車で登れば、舗装道路の終点に「能楽の里牧場」という石碑が立っている。山頂へはさらに地道を進んで20分ほど歩けばよいらしい。しかし、林道を登り始めてから激しい雨が降り続き、女房も帰ろうというので、石碑の前で写真を撮って帰ることにした。

【参加者】 井戸澄夫、他1名



【第2815回例会】

播州 段ガ峰 (2等△1103.4)

井戸 澄夫

10月は大型台風の襲来など天候不順の日が続いたが、11月は一転して秋の好天が続いている。11月2日の段ガ峰例会も絶好の好天に恵まれた。早朝5時に自宅を出発、中国道をゆっくりと走り、山崎ICからR-29経由、一ノ宮から千町峠への林道に入る。千町峠は標高960mあり、西側の一宮からはしっかりした舗装道路である。東側の生野からも林道があるようだが、荒れているとのことだった。千町峠には駐車場があり、悠々山荘という立派な山小屋がある。常時営業はしていないようだが、定期的にコンサートを開いたりしているようである。峠から段ガ峰山頂までは標高差で150m、尾根伝いに40分である。山頂への尾根は笹原が続き、見晴らしがよく気持ちが良い。山頂からの眺めは絶佳である。四周には中国山地のなだらかな山並みが続く。山名はガイドブックでは段(ダル)ガ峰であり古くからそう呼ばれていたようだが、山頂の標識や途中の道標では段(ダン)ガ峰となっていた。地元では山名を分かりやすいものにしようとしているのかもしれない。三角点(2等1103.4)は100mほど北に鎮座している。

帰路、一宮温泉「まほろばの湯」で汗を流した。太古の化石海水が蘇った温泉ということで塩からい温泉であった。隣接して家原遺跡公園がある。縄文・弥生の住居跡遺跡であり、竪穴住居が復元されている。



笹原の段ガ峰を望む



段ガ峰山頂

【コースタイム】

5:20 京都宇治西 IC (京滋バイパス・中国道) 山崎 IC 8:00~R29~一宮~9:40 千町峠・・・10:20 山頂 10:40・・・千町峠 11:15~12:00 一宮温泉 (入浴) 14:00~帰路

【参加者】井戸澄夫, 他1名

【個人山行】令和元年9月19日（木）

一乗山 点名 星峠 1等三角点 740.7m

吉田 武

当初10月例会に予定していたが、9月のこの時期に行くことにした。湖西街道を敦賀ICまで走り、北陸自動車道鯖江ICで降りて、以前よく山に行っていた友達が、介護のために京都から自宅、鯖江市上河内に住んでいることを知ったので、お見舞いを兼ねて訪問した。この地区には湧水や滝が多くあり、水のきれいな地区と聞いていたが、至る所に湧水がある。

ゆたかな山間で住んでみたいと思った。

友達と別れてからはますます山の中に入っていく。峠から降りたところが、R476池田町折立、少し北上して下折立から赤谷林道に入ったが、いつも思うけれど、僕の車では少しヤバイ所があった。9kmほど入った所に一乗山登山口の看板があったので、車を置いて登って行った。よく踏まれたルートで30分ほど登ったら展望の開けた頂上に着いた。正面には先月登った部子山、右手には日野山が、快晴の空に綺麗に望まれた。

昼食と写真撮影をして往路を下山。折立から武生ICにナビを合わせて帰路についた。

【参加者】他1名



1等三角点



登山口道標



頂上より日野山



頂上より部子山



上河内の桃源清水



頂上にて

例会報告 (まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2812	福井 部子山 (2等△1464.3)	雨	令和元年 9月23日(日・祝)	井戸澄夫	他1名	別項詳報
2813	府民 秋の自然観察会 花背大悲山 キノコ観察	雨	令和元年 10月13日(日)	岡田茂久 方山宗子		荒天のため中止しました。
2814	子ノ泊山 (1等△907.2)		令和元年 10月9日(水) ～10日(木)	吉田 武		都合により中止しました。
2815	播州 段ガ峰 (2等△1103.4)	晴れ	令和元年 11月2日(土)	井戸澄夫	他1名	別稿詳報

雑 報

△△△ 10月の集会

日 時 10月7日(月) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 吉田, 方山, 岡田, 森本, 井戸 5名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 11月の集会

日 時 11月8日(金) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 方山, 岡田, 大倉, 森本, 井戸 5名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告
70周年記念誌(案)ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い, 部報の発送先, 発送方法に変更がある場合は, 必ず部報
発送担当者(松田)まで連絡してください。

※パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方は,
パソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 部費の徴収について

部費の徴収方法について現在検討中です。そのため今年度の部費については
当面徴収せず, 山岳部の活動は内部留保金で運営していきます。既に納入され
た方については別途返却いたしますので暫くお待ちください。

△△△ 70周年記念誌の原稿提出について

京交山岳部創立70周年記念誌の案が出来たので、11月集会で参加者各位に見ていただきました。原稿の締め切りは9月末でしたが、12月上旬までは受け付けます。

未提出の部員各位には早急に提出されるようお願いいたします。提出先は松田または井戸です。

なお、70周年記念誌は2020年1月10日の新年会でお配りする予定です。

△△△ 2020年1月集会兼新年会のお知らせ

日 時 2020年1月10日（金）18:00～

場 所 「かごの屋」四條烏丸下る 地下鉄四條駅6番出口前

担当者 松田誠二

吉田 武

備 考 費用は山岳部が負担します。

《新入部員募集中》

令和元年12月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>